

新しい評価を創り、実践するパイオニアを募集！ 『伴走評価エキスパート』育成プログラム（2018年度）



社会的インパクト評価や休眠預金活用の流れから、評価ができる人材の確保が急務となっており、その中でも『伴走評価』は現場で役に立つと言われていています。本プログラムでは、社会的課題の解決に取り組む事業や組織の成長促進を支援できるような事業評価の専門家『伴走評価エキスパート』を育成します。事業のイノベーションを促進させる『**発展型評価 (Developmental Evaluation)**』という手法を組み上げた実践的な研修を行います。我が国のこれからの評価のあり方を共に考え、社会的価値を最大化する基盤づくりを進め、各地域・業界に展開するリーダーシップを発揮できる人材を募集します。

■ カリキュラムの特徴



最先端の評価理論と現場で使える実例のインプット



現場での実践とフィードバックによる学習の促進



国内での実践のための基盤づくり
(教材開発、事例蓄積、システム開発)

■ 『発展型評価 (Developmental Evaluation)』とは

社会的イノベーションなど、目的が固定されているというよりも目的自体が変化し、時間軸も予め設定されているというよりも流動的で前進的な対象を評価するための方法です。

事業評価の3類型

発展型評価	形成型評価	総括型評価
事業が発展中、生成中の場合に適用	まだ改善の余地あり、基準づくりの過程に適用	すでに確立している、結果もある程度予測可能な場合に適用

■ 研修プログラムスケジュール

プログラム	日程 (詳細決まり次第、案内します)	内容 (予定)
第1回定期研修会	2018年8月 (1泊2日)	評価全般、発展型評価の基礎。事例を通しての学習や伴走先団体の現状分析など
集中研修会	2018年11月 (3泊4日)	専門家による実践講義、評価設問設計、データ収集準備、相互プレゼンテーション
第2回定期研修会	2019年2月 (2泊3日)	実践ケースの執筆、取り組み内容のまとめ、ITシステム構築、今後の展開の相談

■ 指南役の紹介

● 統括アドバイザー：マイケル・クイン・パットン

実用重視評価、DEの提唱者かつ第一人者。全米評価学会会長（1988）をはじめ、評価関連の要職を歴任。

● その他の指南役：

- 源 由理子 (明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授/明治大学プログラム評価研究所・代表)
 - 今田 克司 (一般財団法人CSOネットワーク代表理事、日本NPOセンター常務理事)
- 他にも第一線で活躍する評価専門家を予定しています。



■ 募集要項 *詳細は、CSOネットワークのホームページで案内します

● 求める人材像

- (1)事業評価について、一定以上の知識・経験を持っていること
- (2)実際の国内の支援先団体を持っていること (ない場合は弊財団で支援先団体を用意する予定です)
- (3)原則プログラムの全日程に終日参加可能で、月10~15時間程度のコミットができること

● 募集定員：16名 (書類および面接による選考を実施します)

● 募集期間：2018年4月~

● 参加費：98,000円 (税込。宿泊費・交通費の補助あり。通常200,000円以上の研修ですが、助成事業による特別価格となっております)

● お問い合わせ：一般財団法人CSOネットワーク (担当：千葉) eval@csonj.org

■ 主催：一般財団法人CSOネットワーク

■ 協力：NPO法人日本ファンドレイジング協会
NPO法人日本NPOセンター

■ 助成：日本財団

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION